



令和 7年 10月 30日

伊豆市議会 教育厚生委員会 行政視察報告書

教育厚生委員会 下山祥二

【行政視察先及び視察内容】

10月23日(木) 愛知県東郷町 ①(B型作業所 zoi の取組について)

10月24日(金) 愛知県豊橋市 ②(イマージョン教育の取組みについて)
静岡県牧之原市 ③(新たな図書館のあり方、図書交流館
「いこっと」について)

- ① 愛知県東郷町の社会問題にとことん向き合うレストラン、森のごちそう隠れ家ジビエレストラン zoi にて、社会福祉法人 tomoni plus 理事長の浜野剣氏から、障がいのある方の就業支援として調理、接客、農業を通して最低賃金を保障しながら自立のサポートを行うという取組みで、今までのイメージを払拭するような数々の視点を伺い、浜野理事長のスキームづくりに感嘆いたしました。

福祉の醜さ、強制的な仕事、汚い、暗い、閉塞感を感じて成長性もないなどのマイナスイメージを拭い去り、障がいのある方でも味覚に優れている、農作物を辛抱強く丁寧に育てることができるなど洞察力をもっている。そして料理や接客が好き、自然や農業が好き、その『好きを仕事にする』ことにより、障がいのある方は辛抱強く働き、そしてスタッフも共感することが大事であると説明を受けた。

このレストラン zoi では、一流シェフやスタッフに加え、デザートやパンなどは障がいのある方が作り、コースメニューのひとつとして提供しているそうです。障がいのある方も一人工として働いてもらい、しっかりと最低賃金を保障しています。足助地区から捕獲したシカやイノシシのジビエ料理と福祉の連携が素晴らしいスキームで成り立っている事例で大変参考になりました。

伊豆市においてもジビエの販路拡大が思うように進まない中、福祉と連携した高級ジビエレストランの新規出店により、新たな賑わいの創造に繋がる可能性を信じて挑戦すべき価値のある内容であると思い、議員各位の施策提案に期待いたします。

② 豊橋市八町小学校のイマージョン教育(豊橋市の英語教育推進の歩み)

八町小学校山本武志校長先生に興味深く楽しい内容の座学をしていただき、2年生から4年生までの2時間目の授業を参観させていただきました。

豊橋市では20年前、2005年に英語教育推進特区として、『英会話のできる豊橋っ子の育成プラン』の実施をスタートして、数々の実践・取組を経て2020年に現在の6学年でイマージョン教育コースがスタートしたとのことです。

八町小学校のイマージョン教育は1年生から6年生まで道徳と国語以外は原則として英語による授業を進めています。実際に3年生の理科、2年生の算数、4年生の社会の授業を参観させていただきました。

児童生徒の英語の発音の美しさやノートにすらすらメモを書いている様子を見て、驚くと同時に、年を重ねるだけで英会話もできない自分を恥ずかしく感じました。

自分の努力を棚に上げて、国の責任にははいけませんが、八町小学校のイマージョン教育を目の当たりにして、改めて日本の英語教育が間違っていたのではないかと、山本校長先生に問うと、山本校長先生ご自身も、至る所でそのことを訴えて全国にイマージョン教育を広げていきたいとおっしゃっていました。

世界各地で争い事が絶えない世界情勢の中で、日本もグローバルに世界各国と対等に渡り合っていくには、最低限、世界共通語の英会話は必要であると考えます。

八町小学校のイマージョン教育が決して特別なものではなく、文科省は日本の英語教育が誤っていたことを認め、英会話の出来る英語教育に改めるべきであるとの思いを強くしました。

伊豆市も近隣自治体に先駆けてイマージョン教育の推進を図り、是非とも移住定住施策に繋げてほしいと強く期待いたします。

③ 牧之原市の図書交流館「いこっと」は民間のホームセンターの空き家を再利用したものです。はっきり言って外観は殺風景な印象でしたが、一旦室内に入るとコミュニティー施設として、老若男女や他市町の利用者も約15%の人が訪れている居場所となって、ふと寄りたくなる雰囲気が伝わってきました。

行政から提供されたものではなく、工事期間中から中学生や多くの市民ボランティアが駆けつけて、住民の皆さん自らがつくった図書館という意識づけが、現在の賑わいに繋がっているものと思います。

障がいのある方や外国人も利用しやすく工夫されており、SNSも利用可能で館内には常時BGMも流れており、食事はNGですが飲み物はOKでした。

図書交流館「いこっと」には、もちろん静寂なスペースで集中できる学習室も完備されていますが、図書館＝静寂な場所、私語や雑音は厳禁で、議会も来館者数や図書の貸出人数などに注目して決算審査するという固定観念が、図書館利用者人数増加の妨げになっているのではないかと思います。

当日、「いこっと」の視察に合流した伊豆市の図書館長との雑談で、現状の修善寺図書館のスペースを考えると出来ることは限られる。

それでも令和6年度に周辺整備工事を実施してきれいに整備されたが、さらにロタングに屋根があれば、雨の日でもイベントが可能で新たな賑わいの創出が出来るかな？教育部に要望する価値があると意見が一致しました。

以上